

不正アクセス対策技術

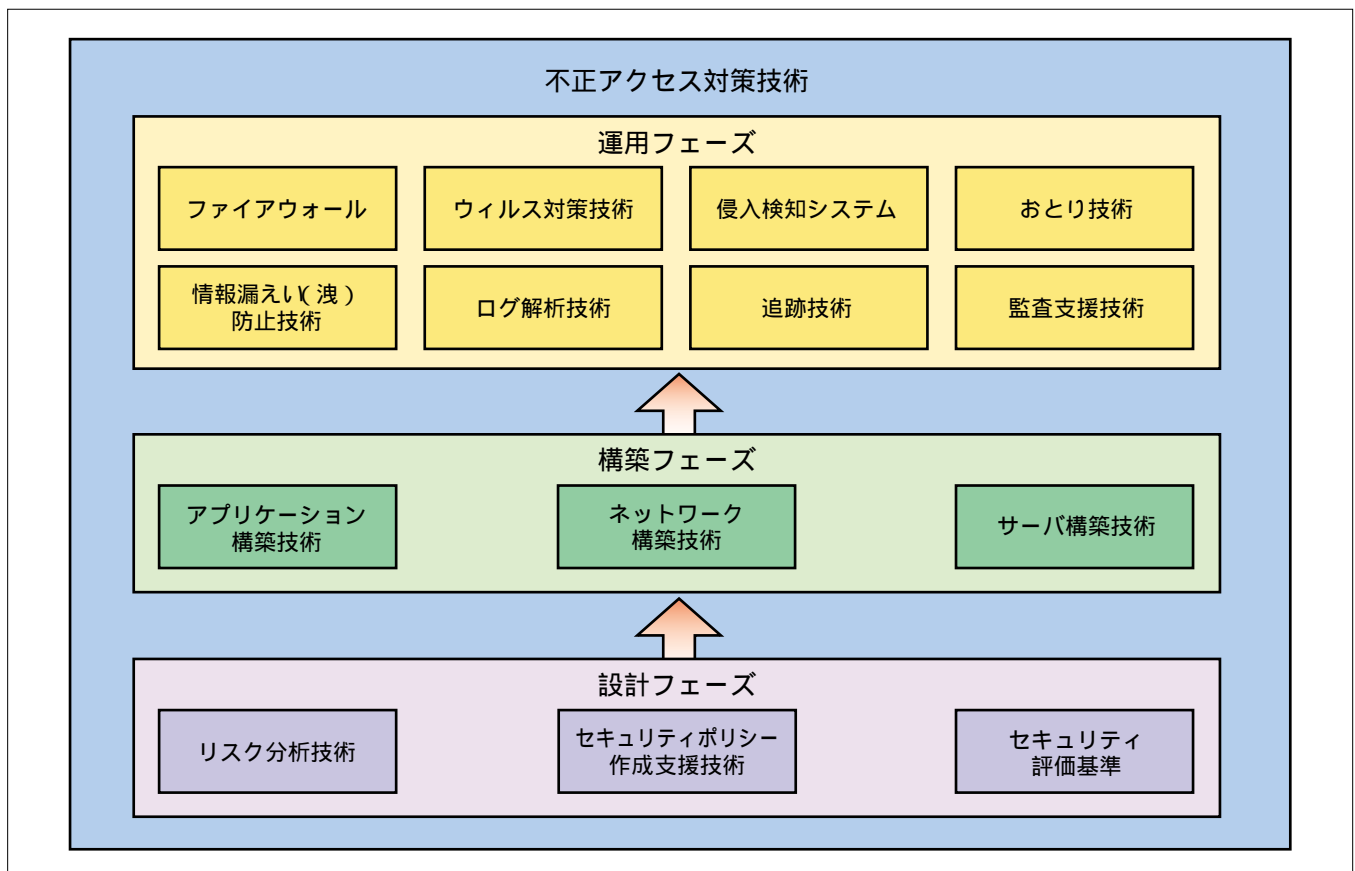
藤井誠司*
勝山光太郎**

要 旨

不正アクセス対策の重要性が認識され、ファイアウォール等の不正アクセス対策が実施されるようになった。しかし、不正アクセスの手法は常に進化を続け、より高度な不正アクセス対策技術が求められている。また、インターネットの普及が管理対象のネットワークの大規模化を促進したため、情報システムをトータルに守る仕組みとして個々の不正アクセス対策ツール群を統合的に効果良く、管理・運用することが重要となってきた。三菱電機では、このような状況に対応する不正アクセス対策要素技術及びシステムの研究開発を行っている。

本稿では、不正アクセス対策における設計、構築、運用フェーズごとに必要とされる不正アクセス対策技術について概説し、当社が取り組んでいる不正アクセス対策技術の中から、監査支援技術である統合型セキュリティ診断ツール及び侵入検知技術を発展させたおとり誘導による不正アクセス対策システムについて述べる。

今後は、これらの技術を高度にセキュリティな不正アクセス対策を必要としている社会重要インフラシステムへ展開していく。



不正アクセス対策技術

不正アクセス対策には、設計、構築、運用のフェーズがある。各々のフェーズは、不正アクセス対策技術によって構成される。三菱電機は、これらを構成する不正アクセス技術及びそれらの要素技術で構成されるシステムの研究・開発を行っている。